

## 【2025年度 白百合女子大学「社会貢献・社会連携活動一覧」】

本学の社会貢献・社会連携活動を「日頃の教育・研究活動で培われた知的・人的・その他、さまざまなリソースを積極的に学外に還元するもの」と定義し、4つのカテゴリー(1,【各教員の専門領域における研究成果の提供(出版物、講演会等)】、2,【教員や学生の、地域の課題解決(産学連携)に関わる活動への参加等】、3,【地域の行事、イベントへの施設の提供による地域の活性化】、4,【1～3を併用する形での連携】)に整理。2025年度中の活動を公開する。

2026年1月15日(木)～2月13日(金)の期間に、教育組織長・事務組織長・附属施設長にメールで回答を依頼。13部署より65案件の回答あり。

### 1,【各教員の専門領域における研究成果の提供(出版物、講演会等)】

1	プログラム名称	高大連携プログラム「フランス語サマースクール」
	学科・部署名	文学部 フランス語フランス文学科
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2025年7月29日(火)・30日(水)
	プログラム概要	高校生(女子)を対象としたフランス語の学びを体験できるプログラム。フランス語を「聞く」力、「話す」力を育むためのさまざまな活動が用意されている。またフランス語圏文化の知識を深められる講義を受けることもできる。フランス語未習者のための「初心者クラス」、高校等で第2外国語として学習している生徒のための「準初心者クラス」、フランス語を本格的に学んでいる生徒のための「経験者クラス」があり、受講者は各自のレベルに合ったクラスで学ぶことができる。2日間すべての授業を受講し、単位認定試験に合格すると、本学の単位を取得できる。2025年度の実講者は45人で、終了時アンケートではその95%以上から高い評価を得た。

2	プログラム名称	国際シンポジウム「歴史の共有と協働ーニューカレドニア、日本、フランスー移民史、語学教育、そして5.13事件」(2025年1月12日開催)『言語・文学研究論集』第26号掲載論文
	学科・部署名	フランス語フランス文学科
	教職員名	辻川慶子、アリア・テムナチ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	
	プログラム概要	白百合女子大学では、2025年1月12日に国際シンポジウム「歴史の共有と協働ーニューカレドニア、日本、フランスー移民史、語学教育、そして5.13事件」を開催した。この成果論集を『言語・文学研究論集』第26号に掲載した。論集には、2025年の5.13事件、ニューカレドニア・ベトナム・日本の移民史、ニューカレドニア大学・白百合女子大学間で行われたCOIL型授業と交流授業の報告などが含まれる。国際シンポジウムの登壇者には外務省職員も含まれており、80名を超える参加者から大きな反響があった。島の現状と移民史、ならびにオンライン国際交流がもたらした相互文化的能力の涵養について、世に問う意味は大きい。

3	プログラム名称	ACCtion#176「冒険のコンテンツ」でブルネ・トリスタンのインタビュー
	学科・部署名	フランス語フランス文学科
	教職員名	ブルネ・トリスタン・ヘンリ
	学生団体名	学生団体名
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年6月
	プログラム概要	ACCtionというコンテンツを中心にする雑誌で、「コンテンツの冒険」というコラムのためにブルネ・トリスタンがインタビューを受けた。そのテーマは、フランスにおける日本のサブカルチャーのイメージとその時代による変化である。特に、コンテンツという観点から見ると、フランスへの日本のサブカルチャーの輸出は、どのような点を強調すれば人気になるのか、フランス人の創造に響くことができるかなど、このインタビューの対話によって、日本のサブカルチャーのフランスから見た魅力と特徴を明らかにした。

4	プログラム名称	バレエ『ラ・シルフィード』パンフレット寄稿(『ラ・シルフィード』と異界の女性の恋)
	学科・部署名	フランス語フランス文学科
	教職員名	辻川慶子
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	
	プログラム概要	東京バレエ団による『ラ・シルフィード』上演に際して刊行されたパンフレットに記事『ラ・シルフィード』と異界の女性の恋』を寄稿した。『ラ・シルフィード』は19世紀作家シャルル・ノディエの中篇小説『トリルビー』を原作とした演目であるが、主人公の性別が逆転し、異界の女性が人間男性に恋をする物語となっている。この背景を探ると、同じように異界の女性(悪魔・吸血鬼・妖精)が人間の男性に恋をする作品が18-19世紀幻想文学に複数認められる。ロマンティック・バレエの傑作と言われるこの作品をフランス文学史の文脈に置き直すことで、異界の女性という女性像の確立について解説を行なった。

5	プログラム名称	マンガは人生の参考書
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	トミヤマユキコ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年2月19日(水)
	プログラム概要	トミヤマの母校である田園調布高等学校からの依頼で、在校生を対象に、上記タイトルの講演会を実施した。高校卒業後の進路、マンガ研究者になったきっかけ、現在の白百合での様子について話すことで「こういう仕事の仕方もあるのだ」ということを伝えるとともに、児童文化学科で学ぶことのおもしろさも伝えた。

6	プログラム名称	自分を愛せるようになるための第一歩 ～ルッキズムとジェンダーを超えて～
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	トミヤマユキコ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年7月12日(土)
	プログラム概要	With You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)からの依頼で、上記タイトルの講演会を実施した。自己肯定感を損なうことなく生きるためのヒントを得られるよう、社会に潜むルッキズムやジェンダーを描いたマンガ作品を複数挙げ、社会問題と接続させながらマンガを読む方法について解説した。

7	プログラム名称	「働く×マンガ」?! マンガから読み解く女性のキャリアとライフイベント
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	トミヤマユキコ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年9月17日(水)
	プログラム概要	社会課題解決に向けた公共づくりをおこなうNPO法人「HELLOlife」からの依頼で、「女子×労働」の視点からマンガを読み解き、働き方やライフイベントを切り抜けるヒントを学ぶためのオンライン講演会を実施した。トミヤマ自身の働き方、および、労働をテーマにした女子マンガの紹介も行った。

8	プログラム名称	ジェンダーの視点から「少女マンガ」を読み解く!
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	トミヤマユキコ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年9月27日(土)
	プログラム概要	松山市男女共同参画推進センターからの依頼で、上記タイトルの講演会を実施した。ジェンダーについての知識が得られる、あるいは、考えがより深められるマンガの紹介を通じて、日本社会においてジェンダーに縛られすぎることのない生活を営むための実践的技法について概説した。

9	プログラム名称	ジェンダーのモヤモヤ マンガで解決！「マンガ」の主人公の生き方から考える
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	トミヤマユキコ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年10月4日(土)
	プログラム概要	足立区男女共同参画プラザからの依頼で、「職場のお茶出し」はいつも女性？「食事を作る人」で思い浮かべるのは女性？男性？ 男性の家事・育児は「手伝う」もの？——といった生活上のモヤモヤとその解消法について、マンガの分析・考察を通じて考えるための講演会を実施した。

10	プログラム名称	ジェンダーで読む日本の少女マンガ・女子マンガ
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	トミヤマユキコ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年10月18日(土)
	プログラム概要	山形県男女共同参画センター「チェリア」が実施している、令和7年度女性の人材育成事業「チェリア塾基本コースin 村山」の一環として、上記タイトルにてレクチャーとディスカッションを行った。前半はジェンダーについて考える上で参考になるマンガの紹介、後半はジェンダーについて描かれていると思われる作品を参加者に挙げてもらい、その内容についてグループでディスカッションしてもらった。

11	プログラム名称	マンガは人生の参考書 ～多様化する社会における自分の愛し方～
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	トミヤマユキコ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年11月9日(日)
	プログラム概要	いわき市男女共同・多文化共生センターからの依頼で、上記タイトルの講演会を実施した。自分の愛し方＝セルフラブ、をテーマに複数のマンガを紹介しながら、よりよく生きるための実践的技法について概説した。後半は、市内の高校に通う生徒たちと登壇し、日頃どのようにマンガと触れ合っているか、好きなマンガについて、など自由に語ってもらいながら、勉強の邪魔になるマンガだけでなく人生の参考書になるマンガがあるということについての学びを深めた。

12	プログラム名称	くるくるアニメおもちゃ「キノーラ」を作ろう
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	やたみほ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2026年2月4日、5日
	プログラム概要	杉並区立、杉並第七小学校の5年生の図工でゲスト講師としてアニメーションの授業を行う。「アニメーションとは何か？」をテーマに20分ほど講義をしたあと、6枚の動画を描いてもらい、各自で視覚玩具「キノーラ」を作る。回しているところを撮影し、最後に上映をする。今年度は5年生3クラス、それぞれ2時間ずつ開催する。

13	プログラム名称	人間コマ撮りアニメを作ろう
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	やたみほ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2026年2月16日
	プログラム概要	杉並区立、杉並第七小学校の6年生の図工でゲスト講師としてアニメーションの授業を行う。人間をコマ撮りする「ピクシレーション」について解説をしたあと、グループごとに動画を作成してもらう。テーマに沿ってアプリを使ってコマ撮りをし、最後につなげて1本の映像にして上映会をおこなう。今年度は6クラス、各2時間ずつおこなう。

14	プログラム名称	創作活動「パラパラアニメ」
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	やたみほ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2026年2月24日、27日
	プログラム概要	不登校の中学生を対象にしたステップアップ教室「さざんか宮前教室」にて講師としてアニメーションの授業を行う。アニメーションについて講義をしたあと、ぱらぱらマンガ、コマ撮りアニメなど好きな手法を選んでアニメ作りを体験してもらう。色々な材料を揃えておき、希望者には毛糸でマスコット作りを体験してもらう。

15	プログラム名称	「らしくない」を生きるわたしたち ～背中を押してくれたあのヒロイン～
	学科・部署名	児童文化学科
	教職員名	トミヤマユキコ
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2026年3月7日(土)
	プログラム概要	とよなか男女共同参画推進センター「すてっぷ」からの依頼で、上記タイトルの講演会を実施する。自分らしさについて考えるきっかけとなりそうな作品を複数紹介する他、マンガ作品を人生の参考書として実人生に接続するための実践的技法についても概説する。

16	プログラム名称	教育開発指定校にかかる講演「自己選択学習で必要とされていること」
	学科・部署名	発達心理学科
	教職員名	涌井恵
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年6月26日
	プログラム概要	令和6～8年度 文部科学省研究開発学校・目黒区教育開発指定校である目黒区立不動小学校において、2025年6月26日に、教育開発指定校にかかる講演「自己選択学習で必要とされていること」を行なった。不登校児の支援も含めた全校の指導体制づくりについて、指導助言も行なった。

17	プログラム名称	令和7年度三鷹市民大学一般教養コース 子どもの発達心理学-思春期を中心に-	
	学科・部署名	発達心理学科	
	教職員名	眞榮城和美	
	学生団体名		
	カテゴリー ※1	1	#N/A
	提供リソース	1.知的資源	
	実施日(実施期間)	2025年9月～11月 全5回	
	プログラム概要	<p>“子どもの健やかな発達には『何』が『いつ頃』、『どのように』関わっているのか”について、発達心理学の視点から学ぶことを目的として開催。          発達段階に沿った発達の課題(向き合っておくと良いテーマ)について学び、子どもの育ちに関わることがさらに楽しくなるヒントを共有した。</p>	

18	プログラム名称	言語・文学研究センター主催2025年度第1回講演会“Irresponsible Intercourse”: The American Debate over Contraception, Abortion and Women’s Rights(邦題:「無責任な性交——アメリカにおける避妊・中絶と女性の権利をめぐる論争」)の開催	
	学科・部署名	言語・文学研究センター	
	教職員名		
	学生団体名		
	提供リソース	1.知的資源	
	実施日(実施期間)	2025年6月2日(月)3限 13時～14時30分	
	プログラム概要	<p>デラウェア大学歴史学科のRebecca L. Davis教授を講師に迎え、講演会““Irresponsible Intercourse”: The American Debate over Contraception, Abortion and Women’s Rights」を開催した。当日は、最新の研究成果に基づく1870年代以降のアメリカ社会における避妊・中絶をめぐる議論の展開と、それに伴う女性のセクシュアリティ、身体の自律、そして権利意識の変遷について紹介がなされた。講演会には、学外から5名、本学の教職員7名、学部生・大学院生あわせて約43名、総勢55名の参加となった。</p>	

19	プログラム名称	『白百合女子大学児童文化研究センター報 No.52』電子版の公開
	学科・部署名	児童文化研究センター
	教職員名	浅岡靖央(児童文化研究センター長)
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年7月28日
	プログラム概要	『白百合女子大学児童文化研究センター報』のNo.52を、児童文化研究センターのホームページにて電子公開した。児童文化研究センターの構成員による講演会報告、プロジェクト活動報告など、児童文学・児童文化に関する情報発信の媒体として、電子版を公開することにより、より広い層へのアプローチが可能になった。 「白百合女子大学児童文化研究センター報」(児童文化研究センターHP) [ <a href="https://www.shirayuri.ac.jp/course/childctr/newsletter/">https://www.shirayuri.ac.jp/course/childctr/newsletter/</a> ]

20	プログラム名称	児童文化研究センター研究会「前期発表会」「後期発表会」
	学科・部署名	児童文化研究センター
	教職員名	浅岡靖央(児童文化研究センター長)
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年7月29日、2026年2月10日
	プログラム概要	児童文化研究センターと児童文学専攻の主催による、研究発表会を前期と後期の年2回開催している。 博士課程(前期)2年生による修士論文の発表、博士課程(後期)院生による博士論文構想発表、児童文化研究センター構成員による研究発表を同時に開催するもので、学内はもちろん、学外の方も参加できる、

21	プログラム名称	第60回白百合祭でのセンター展示ならびに刊行物配布
	学科・部署名	言語・文学研究センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2025年10月25日(土)・26日(日)
	プログラム概要	第60回白百合祭の来場者に向けて、センターの活動を広く知ってもらうための展示物と配布用の刊行物を準備した。昨年度はセンター前にて行った『アウリオン叢書』既刊の自由配布が非常に好評だったので、今年度も、『アウリオン叢書』既刊23巻分を計350冊ほど設置し自由配布を行ったところ、多くの来場者にご関心をお寄せいただき、250冊ほどをお持ち帰りいただいた。周辺地域にお住まいの方々や、学生の親御さんにもセンターの活動の一端を知っていただけたと考えられる。

22	プログラム名称	外部研究者のセンター蔵書閲覧・利用協力
	学科・部署名	言語・文学研究センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年12月11日(木)10~15時
	プログラム概要	日仏会館・フランス国立日本研究所所長を務める研究者、トマ・ガルサン氏に本センター所蔵の『三島由紀夫全集』を閲覧・利用していただいた。ガルサン氏はヨーロッパでの三島由紀夫研究を牽引する存在であり、その研究活動に協力できたことの意義は大きいと考えられる。

23	プログラム名称	2025年度「知の散歩道」の開催
	学科・部署名	言語・文学研究センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年12月17日(水)4限時 16時20分～17時50分
	プログラム概要	2025年度「知の散歩道」として「ケバックを身近に感じてみませんか？～移民が織りなすテキストから韓流ドラマ『トッケビ』まで～」を開催した。講師は本学文学部フランス語フランス文学科非常勤講師で本センター研究員の羽生敦子先生。羽生先生は、2024年に日本ケバック学会・国際ケバック学会が主催する小畑奨励賞を受賞している。参加者は専任教員1名、学部生8名、大学院生1名、学外参加者2名の計13名であった。ゆかりのハーブティーや焼菓子を用意し、参加者はそれらを楽しみながら講師の専門分野に関する学びを深めた。

24	プログラム名称	言語・文学研究センター客員所員・池田潤先生による編訳の『サント＝ブーヴ評論選』刊行
	学科・部署名	言語・文学研究センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2026年1月発売
	プログラム概要	本センター客員所員の池田潤先生が編訳を担当した『サント＝ブーヴ評論選』が幻戯書房(ルリユール叢書)より発売された。サント＝ブーヴは、「近代批評の父」という称号を得ているように、フランス文学史上では頻りに耳にする名前ではあるが、実際の著作を読んだことのある人はごくわずかな作家・評論家である(本書「解説」より)。今回、その日本語訳が出版されたことは、日本におけるサント＝ブーヴ研究ひいてはフランス文学における批評研究に大きく貢献すると考えられる。なお、本書は当センターにて閲覧・貸出利用が可能である。

25	プログラム名称	言語・文学研究センター委嘱研究員・鈴木裕子先生による『源氏物語の心と言葉』刊行
	学科・部署名	言語・文学研究センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2026年1月発売
	プログラム概要	本センター委嘱研究員である鈴木裕子先生の単著『源氏物語の心と言葉』が武蔵野書院より発売された。この本は、鈴木先生のライフワークである『源氏物語』研究を編纂した全608ページの大著である。『源氏物語』の作中人物たちの心と言葉に〈独創的な発想と方法〉を見出し、物語の「表現」についてまとめ上げられており、今後の『源氏物語』研究の基本文献となると考えられる。なお、本書は当センターにて閲覧・貸出利用が可能である。

26	プログラム名称	言語・文学研究センター主催2025年度第2回講演会 「マンガとアートのあいだー展示がひらく新しい鑑賞体験」の開催(予定)
	学科・部署名	言語・文学研究センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2026年3月4日(水)4限 14時40分～16時10分
	プログラム概要	国立新美術館主任研究員の吉村麗氏を講師にお迎えする。これは本学学生や教職員、本センター研究員に限らず、一般の方も参加可能なイベントのため、本テーマにご関心のある方々に届くよう手広く告知を行っている。広報活動に際しては、社会連携センターを通し、調布市の協力を得ることができ、チラシ300部を調布市役所に送付済みである。同様に、調布市公式HPの市民対象行事紹介のページにも本講演会のお知らせを掲載させていただいた。  (※講演会開催後に、当日の参加人数や会場の様子を報告する)

27	プログラム名称	第76回児童文化研究センター研究会 佐藤宗子氏講演会 ミステリからみる<子ども>——人物造型・語り・「子ども」観—— 2026年3月7日開催(予定)
	学科・部署名	児童文化研究センター
	教職員名	浅岡靖央(児童文化研究センター長)
	学生団体名	
	提供リソース	2,人的資源
	実施日(実施期間)	2026年3月7日
	プログラム概要	白百合女子大学の非常勤講師であり、千葉大学名誉教授で、アジア児童文学日本センター会長の佐藤宗子先生をお招きして、児童文学に関する講演をしていただく。佐藤先生は長年にわたり児童文学研究の発展に貢献してこられ、白百合女子大学では主に児童文学専攻の大学院授業をご担当いただいたが、2025年度いっぱい白百合を定年退職される。そこで、本学の学生をはじめ、児童文学研究に感心のある人々に向けて、これまでの児童文学研究について、また、現在のご関心についてお話しいただく。 講演会の対象は白百合女子大学の学生、教職員、児童文化研究センター構成員の他、一般の方も参加可能。

28	プログラム名称	『児童文化研究センター研究論文集29』 2026年3月発行(予定)
	学科・部署名	児童文化研究センター
	教職員名	浅岡靖央(児童文化研究センター長)
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2026年3月上旬
	プログラム概要	児童文化研究センター構成員による論文(投稿2、寄稿2)を掲載し、230部発行する。投稿論文は児童文化研究センター研究論文集編集委員による査読制。冊子体は構成員の他、大学、研究機関、図書館などに頒布する。 過去の論文集については、白百合女子大学機関リポジトリにて公開しており、2025年3月に刊行された『児童文化研究センター研究論文集28』も、2025年度に機関リポジトリで公開された。 「白百合女子大学 学術機関リポジトリ」[ <a href="https://shirayuri-u.repo.nii.ac.jp/search?page=1&amp;size=20&amp;sort=custom_sort&amp;search_type=2&amp;q=33">https://shirayuri-u.repo.nii.ac.jp/search?page=1&amp;size=20&amp;sort=custom_sort&amp;search_type=2&amp;q=33</a> ]

29	プログラム名称	児童文化研究センターホームページでの研究成果の公開 2026年3月(予定)
	学科・部署名	児童文化研究センター
	教職員名	浅岡靖央(児童文化研究センター長)
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2026年3月
	プログラム概要	児童文化研究センターの構成員によるグループ研究[プロジェクト活動]での成果の一部を、センターのホームページで電子公開している。 2025年度末に冊子体で刊行される「近現代児童詩歌研究プロジェクト」の成果論文『近現代児童詩歌第21号』を、PDF版でも公開する。 「プロジェクト成果物」(児童文化研究センターHP) [ <a href="https://www.shirayuri.ac.jp/childctr/project/qelo890000001ino.html">https://www.shirayuri.ac.jp/childctr/project/qelo890000001ino.html</a> ]

30	プログラム名称	『言語・文学研究論集』第26号刊行(予定)
	学科・部署名	言語・文学研究センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2026年3月上旬刊行予定
	プログラム概要	未発表の査読付き論文7本を掲載する。執筆者の内訳は、本学専任教員3名、本センター客員所員4名、外部が4名である(共著者も含む)。発行部数500部のうち、外部への発送部数は約240カ所を予定。なお、掲載論文のデータは大学機関リポジトリで全文公開される。  (※刊行前のため、奥付部分の三校データを根拠資料として提出する)

31	プログラム名称	『アウリオン叢書』第24号刊行(予定)
	学科・部署名	言語・文学研究センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2026年3月上旬刊行予定
	プログラム概要	<p>平尾桂子先生がコーディネーターを担当した2024年度後期オムニバス授業の各講義内容を編纂し、『アウリオン叢書』第24号「交差点(クロスロード)としてのジェンダー」として刊行する。執筆者の内訳は、本学専任教員7名、外部3名の計10名。執筆者それぞれがご専門とする、文学、宗教、思想、アニメ、広告、家族、制度といった異なる分野に表れるジェンダーの問題を解説する。刊行部数は1,000部。全国の白百合学園をはじめ、他大学研究機関・図書館等の外部機関を合わせ140カ所以上に送付を行う。</p> <p>(※刊行前のため、表紙奥付部分の念校データを根拠資料として提出する)</p>

32	プログラム名称	言語・文学研究センター助手・安蒜貴子氏による書評掲載
	学科・部署名	言語・文学研究センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2026年3月
	プログラム概要	<p>本センター助手の安蒜貴子による書評が2026年3月刊行の「昭和文学研究」第92集に掲載される。(予定)</p> <p>書評の対象となった書籍は『傷痍軍人と文学の日本近代』(市川遥著)で著者と安蒜との研究分野の重なりから書評図書が持つ研究史上の意義を指摘している。</p>

33	プログラム名称	「白百合女子大学発達臨床センターNews Letter Vol.16」の発行
	学科・部署名	発達臨床センター
	教職員名	発達臨床センター長 木部則雄
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025年11月27日
	プログラム概要	臨床心理学、発達支援に関わる一般向けのコラムを3編掲載している他、白百合女子大学発達臨床センターのスタッフ等の情報を掲載している。教職員の他、大学、研究機関や、心理臨床に関係する機関などへの周知を目的として、大学のホームページ上で公開している。

34	プログラム名称	『発達臨床センター紀要』(第28号)』の刊行
	学科・部署名	発達臨床センター
	教職員名	発達臨床センター長 木部則雄
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2025/12 発行
	プログラム概要	発達臨床センター構成員や発達心理学科OG・OBによる論文(投稿論文5編、寄稿1編他)を掲載し、600部発行する。投稿論文は発達臨床センター紀要編集委員による査読制。冊子体は、大学、研究機関や、図書館、心理臨床に関係する機関などに頒布する予定。

35	プログラム名称	生涯発達心理学研究第17号の刊行
	学科・部署名	生涯発達研究教育センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2026年3月刊行
	プログラム概要	

36	プログラム名称	公益財団法人 真生会館 講座:金曜セミナー「エディット・シュタインの真理への足跡」
	学科・部署名	カトリック教育センター
	教職員名	釘宮明美
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2026年1月16日、2月13日、3月13日
	プログラム概要	真生会館は「カトリックの精神に則って、その智徳を深め、また豊かな知性と教養を涵養し、混迷する社会に貢献する人を育成すること」を目的に、学生及び社会人を対象とした実践的活動や講座提供を行っている。キリスト教の文化・教養に関する講座の一環として、「エディット・シュタインの真理への足跡」というテーマで全3回の講座の講師を務めた。20世紀のユダヤ人女性哲学者・カルメル会修道女・アウシュヴィッツでの「殉教者」であったエディット・シュタインの愛と献身に貫かれた生涯の足跡と思想を辿り、シュタインの霊性と現代に生きる私たちの課題を考えた。講座は対面とオンラインを併用し、録画でも配信された。

37	プログラム名称	調布市立図書館との連携
	学科・部署名	図書館事務課
	教職員名	図書館事務課
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	通年
	プログラム概要	調布市立図書館と連携し、当館所蔵資料の貸出(図書館内での利用に限る)を行っている。図書館ホームページにて「調布市立図書館への当館所蔵資料の取り寄せ」について掲載している

38	プログラム名称	桐朋学園大学附属図書館【仙川図書館】との連携
	学科・部署名	図書館事務課
	教職員名	図書館事務課
	学生団体名	
	提供リソース	2,人的資源
	実施日(実施期間)	通年
	プログラム概要	桐朋学園大学音楽部の学生・教職員は紹介状の発行なしで当館の利用が可能(資料の館内閲覧、複写など)

39	プログラム名称	白百合女子大学学術機関リポジトリでの研究成果物の公開
	学科・部署名	図書館事務課
	教職員名	図書館事務課
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	通年
	プログラム概要	本学での教育・研究活動の成果物である「学位論文」「紀要論文」等を、白百合女子大学学術機関リポジトリにて学内外へ無償公開している

40	プログラム名称	白百合女子大学学術リソースでの学内資料公開
	学科・部署名	図書館事務部
	教職員名	図書館事務部
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	通年
	プログラム概要	白百合女子大学学術リソースを運営し、「博士論文検索」「児童文化研究センター文庫検索」「貴重書デジタルアーカイブ」「大学発行刊行物目次検索」などを無償公開している。「貴重書デジタルアーカイブ」は、本学図書館が所蔵する貴重資料の一部(「ちりめん本コレクション」「フロリアン寓話選」「江渡末期子供絵本類」「奈良絵本」「荒木田麗女コレクション」「絵巻」「袋草紙」)をデジタル化して「白百合女子大学学術リソース」「図書館蔵書検索OPAC」および図書館ホームページで画像を公開している。

41	プログラム名称	国文学研究資料館「国書データベース」での本学古典籍資料の公開
	学科・部署名	図書館事務課
	教職員名	図書館事務課
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	通年
	プログラム概要	本学図書館では国内の古典籍のデジタル化と画像公開を行う国文学研究資料館の「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築事業」に2021年度～2023年度に参加し、所蔵古典籍資料431点のデータを提供。国文学研究資料館の運営する「国書データベース」で公開されている。

42	プログラム名称	公開講座
	学科・部署名	文学部・人間総合学部・ライフ・リテラシー教育センター・社会連携センター
	教職員名	高橋博史、平尾桂子、山中智省、畠山香奈、鷹野理芳(敬称略)
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	5月～12月
	プログラム概要	本学の教育・研究活動で培われた知的・人的・その他のさまざまなリソースを積極的に学外に還元するため、2025年度は5回の公開講座を実施した。「源氏物語」「セロ弾きのゴーシュ」「千歳くんはラムネ瓶のなか」など、古典近代のみならず現代のライトノベルまで、文学作品を様々な視点での鑑賞・評価するほか、「CMに見る日本のジェンダーと家族」「ヴェルサイユ宮殿と祝祭劇」といった社会問題やヨーロッパの文化など、多様なテーマについて、講演が行われた。学生を含む99名が参加。

43	プログラム名称	宗教講座
	学科・部署名	カトリック教育センター
	教職員名	海老原晴香、久保文彦、石井雅之、高山貞美、釘宮明美(敬称略)
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	5月～12月
	プログラム概要	2025年度の宗教講座:創造への道は「暗闇の中の光」をテーマに、第1回「暗闇の先に、暗闇と共に一旧約・新約を貫くメッセージ」、第2回「天地創造物語が私たちに語りかけるメッセージ」、第3回『「暗闇」の中に「光」が見出されることの意味を探る』、第4回「苦しむ神、よみがえる神」、第5回『「暗夜」の思想とクリスマスの神秘』の5回が行われ、学生を含む90名が参加。

## 2,【教員や学生の、地域の課題解決(産学連携)に関わる活動への参加等】

44	プログラム名称	フランス人NS-TAの白百合学園中学高等学校(九段)派遣
	学科・部署名	フランス語フランス文学科
	教職員名	タニス・ダニエル・ジメネーズ
	学生団体名	
	提供リソース	3,物的資源/その他
	実施日(実施期間)	2026年2月6日(金)
	プログラム概要	白百合女子大学フランス人NS-TAであるタニス・ダニエル・ジメネーズを、白百合学園中学高等学校に派遣した。対象学年は高校一年生であり、第2外国語としてフランス語を学ぶ選択者を2クラスで展開した。授業目標は、①これまでに学んだ表現を用い、フランス人とのコミュニケーションを実体験すること、②フランス語による質疑応答で文化的な事柄の知識を深める、③日本のことについてフランス語を用いて発信する、の3点であった。事前質問に対してフランス語で回答し、プレゼンテーションも用いて、文化的な事項の説明も行なった。出身地であるマルティニーク島についての説明も入り、フランス語圏の広がりに触れる機会ともなった。
45	プログラム名称	発達臨床センター業務
	学科・部署名	発達臨床センター
	教職員名	センター長、センター員(相談員・研究員・顧問)、センター助教、センター事務助手
	学生団体名	博士課程前期・後期
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2025年4月1日～2026年3月31日
	プログラム概要	発達臨床センターでは、発達に関する相談・心理査定及び治療教育等の臨床業務を通じて地域社会に貢献している。また、博士課程前期・後期の大学院生は、専任教員やセンター相談員のスーパーヴィジョンを受けて臨床活動を行っており、臨床心理学領域における研究の発展と臨床心理学にかかわる人材育成に寄与している。 対象は、子ども(0歳～19歳)及び保護者から成人までであり、発達障害の限りではない。実施内容は、保護者の相談、個別治療教育、プレイセラピー、カウンセリング、心理検査、音楽治療教育など多岐に渡っている。臨床活動は、大学6号館及び3号館で行われており、臨床活動は月水木金10:00～17:30で実施している。

46	プログラム名称	三鷹市教育委員会・発達検査委託業務
	学科・部署名	発達臨床センター
	教職員名	センター員(相談員・研究員)・センター助教・センター事務助手
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2025年4月1日～2026年3月31日
	プログラム概要	特別支援教育の広がりと共に、発達検査を必要とする児童・生徒の数が急増していることから、三鷹市教育委員会より、「発達検査委託業務」の申し出があり、発達検査の必要性を認めた三鷹市在住の児童・学童について、発達臨床センターに所属する臨床心理学の専門家が、当センター施設内にて心理検査を施行している。本委託業務は2012年度より継続的に契約しており、今年度までに累計135件を受託している。 実施担当は、発達臨床センター相談員ならびに助教。いずれも公認心理師ならびに臨床心理士等の有資格者であり、検査の実施と検査所見の作成を行い、三鷹市教育委員会へ送付している。

47	プログラム名称	『生涯発達心理学研究』第17号の刊行
	学科・部署名	生涯発達研究教育センター
	教職員名	堀口康太
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2026年3月刊行
	プログラム概要	白百合女子大学における教員や学生の地域の課題解決に関する論文及び活動報告を掲載した。

48	プログラム名称	難民の故郷の味を学食で伝えるプロジェクト「Meal for Refugees(M4R)」
	学科・部署名	国際交流オフィス
	教職員名	武井 徹
	学生団体名	コスモポリット
	提供リソース	2,人的資源
	実施日(実施期間)	2025年12月2日(月)～12月5日(金)
	プログラム概要	認定NPO法人難民支援協会と協働で行うもので、本学では2016年から実施している取り組みである。日本に逃れてきた難民の家庭料理を学食のメニューとして導入し、食べることを通じて難民を知ってもらうことを目的として活動している。1食あたり20円が寄付として難民支援協会を通じて難民の支援に活用される。

49	プログラム名称	特殊詐欺防止を呼び掛ける母の日ボランティア
	学科・部署名	学生生活課
	教職員名	
	学生団体名	学生会執行部
	提供リソース	2,人的資源
	実施日(実施期間)	5月11日
	プログラム概要	地域婦人会や調布警察署の方々と連携し、特殊詐欺防止を呼び掛けるチラシや、ポケットティッシュ、カーネーションを調布駅前にて配布。母の日にちなんでカーネーションを添えることで受け取ってくださる方も多かった。学生会執行部10名が参加。

50	プログラム名称	痴漢撲滅キャンペーン
	学科・部署名	学生生活課
	教職員名	
	学生団体名	学生会執行部
	提供リソース	2,人的資源
	実施日(実施期間)	6月10日
	プログラム概要	仙川駅前で行われた調布警察署主催「痴漢撲滅キャンペーン」に参加。地域婦人会・調布警察署の方々と連携し、仙川駅利用者に対し、防犯グッズを配布。痴漢撲滅に向けた啓発活動を行った。キャンペーン中、警察署より、悪質ホストクラブへの対策として、2025年6月28日に改正される「改正風営適正化法」についての説明も受ける。学生会執行部2名参加。

## 3,【地域の行事、イベントへの施設の提供による地域の活性化】

51	プログラム名称	調布市立緑が丘小学校2年生「町たんけん」に対するキャンパス利用
	学科・部署名	初等教育学科
	教職員名	大貫麻美
	学生団体名	
	提供リソース	3,物的資源／その他
	実施日(実施期間)	9月11日,25日、10月9日
	プログラム概要	調布市と教育活動に関する包括的な連携に基づき、調布市立緑ヶ丘小学校から、2年生の探検隊が生活科の授業活動「まち探検」のため、9月11日(木)、9月25日(木)、10月9日(木)の3回にわたり本学キャンパスを訪問。初等教育学科研究室にて、キャンパスマップが掲載されているパンフレットを受け取った探検隊一行は、あらかじめ考えてきた白百合女子大学に関するさまざまな質問を、案内役の大貫麻美教授にインタビューしたり、キャンパス構内を探索したりしながら解決する体験を行った。

52	プログラム名称	おらほせんがわ祭り
	学科・部署名	学生生活課
	教職員名	
	学生団体名	チアリーディング部
	提供リソース	2,人的資源
	実施日(実施期間)	8月2日
	プログラム概要	地元仙川の商店街で行われた夏祭りでの演技披露。1年生にとっては初めての人前での演技披露となった。夏祭りの盛り上げに貢献。部員7名が参加。

53	プログラム名称	令和7年度八幡神社例大祭演芸大会
	学科・部署名	学生生活課
	教職員名	
	学生団体名	シャンソン研究会
	提供リソース	2,人的資源
	実施日(実施期間)	9月15日
	プログラム概要	八幡神社演芸大会での演奏。部員9名と他大協力者と参加。

54	プログラム名称	令和7年度八幡神社例大祭演芸大会
	学科・部署名	学生生活課
	教職員名	
	学生団体名	放送研究会
	提供リソース	2,人的資源
	実施日(実施期間)	9月15日
	プログラム概要	八幡神社演芸大会での司会進行役として部員2名での参加。

55	プログラム名称	調布市20歳の集い
	学科・部署名	学生生活課
	教職員名	
	学生団体名	放送研究会
	提供リソース	2,人的資源
	実施日(実施期間)	2026年1月12日
	プログラム概要	調布市グリーンホールで行われた20歳の集いでの司会進行。部員2名での参加。

56	プログラム名称	中学生「職場体験」受入れ
	学科・部署名	社会連携センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	3,物的資源／その他
	実施日(実施期間)	通年
	プログラム概要	中学校総合学習としての「職場体験」を受入れ。調布市立第四中学校の2年生4名が[7/1～/3]に、三鷹市立中等教育学校の2年生4名が[11/5～/7]に複数の事務部署での業務参加を通じて働くことの大切さや大変さを実感し、仕事への理解を深めた。また調布市立第七中学校の1年生4名が[9/12]に総合学習「調布調べ」で来校。事務部署を回りながら生徒自身があらかじめ考えてきた疑問を各部署の職員に質問する形で、大学の仕事を理解した。

57	プログラム名称	自治体との連携
	学科・部署名	社会連携センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	3,物的資源／その他
	実施日(実施期間)	通年
	プログラム概要	調布市「調布花火2025」や、三鷹市「みたか太陽系ウォーク2025」等に協賛。「調布市選挙管理委員会による選挙啓発広報」活動の支援として、白百合祭での出店に協力。調布市環境部ごみ対策課減量対策「コンタクトレンズ空ケース回収(リサイクル)」に協力。

## 4,【1～3を併用する形での連携】

58	プログラム名称	香水の魔法 — 香水の歴史と調香師の仕事
	学科・部署名	文学部フランス語フランス文学科
	教職員名	畠山香奈
	学生団体名	白百合女子大学フランス語フランス文学会
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2025年10月9日(木)
	プログラム概要	10月9日(木)本学クララホールにて、フランスを拠点に活動している調香師のダニエル・ペシオ氏による講演会「香水の魔法 — 香水の歴史と調香師の仕事」(主催:白百合女子大学フランス語フランス文学会)を実施した。本学フランス語フランス文学会(仏文学会)は、フランス語フランス文学科や専攻で学ぶ学部生、大学院生を中心に教員、卒業生、修了生などをメンバーとして、フランス語学、フランス文学、フランス文化の研究と会員相互の親睦を深めることを目的としている。今回の講演会は、仏文科の学部生・院生にくわえて、他学部他学科の学部生・大学院生、学外からも参加希望があり、およそ60名が参加する催しとなった。
59	プログラム名称	日本SEL学会第2回大会
	学科・部署名	発達心理学科、生涯発達研究教育センター
	教職員名	眞榮城和美・鈴木忠
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2026年3月21日(土)
	プログラム概要	「心と知をつなぐSEL」全世代にひらかれた“ウェルビーイング”の実現に向けて—というテーマで日本SEL学会(Social and Emotional Learning学会)を開催。本学の発達心理学科における学びとも深くつながるテーマでの実施となった。 開催日時:2026年3月21日(土) 10:00~17:30 開催場所:白百合女子大学(東京都調布市緑ヶ丘1-25) 大会概要 <a href="https://j-sel.org/event/meeting/653/">https://j-sel.org/event/meeting/653/</a> 大会プログラム <a href="https://j-sel.org/eve/2nd_conference/program/">https://j-sel.org/eve/2nd_conference/program/</a>

60	プログラム名称	白百合女子大学創立60周年記念講演会 バーバラ・オークリー先生講演会
	学科・部署名	ルイ・ショーヴェセンター、発達心理学科、生涯発達研究教育センター
	教職員名	
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2025年10月26日(日)
	プログラム概要	教育界のノーベル賞とも称されるマグロウ賞を受賞された神経科学・学習科学の世界的第一人者である バーバラ・オークリー氏(オークランド大学卓越教授)に、「いにしへの知恵と現代の知性が出会うとき:AI時代の学び」というテーマでご講演いただいた。関東近県や大学近隣の教育関係者、保護者、学生(小学生含む)が参加し、好評を得た。また、本講演はLITALICO発達ナビのHP記事 <a href="https://h-navi.jp/column/article/35030853">https://h-navi.jp/column/article/35030853</a> に取り上げられた他、発達心理学科の動画 <a href="https://x.gd/xR5dL">https://x.gd/xR5dL</a> として広く公開し普及に努めている。

61	プログラム名称	公益財団法人 真生会館 評議員・講座企画協力者
	学科・部署名	カトリック教育センター
	教職員名	釘宮明美
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	2025年4月1日、6月25日、9月10日、11月24日、2026年1月12日、3月18日
	プログラム概要	公益財団法人真生会館は、「キリスト教精神に基づいて、学生・青年と社会人に学びの場や出会いと成長の場を提供し、その智徳を深め、豊かな知性と教養を涵養して、互いの人間性を尊重しながら心豊かに人生を送ることができるようにすることを目的とする事業」を行っている。各期ごとの講座のテーマや企画設定への参画と協力、また学生・青年たちの活動支援への助言と提言を行った。

62	プログラム名称	高大連携(姉妹校・指定校・協定校)
	学科・部署名	文学部・人間総合学部・図書館・入試広報課
	教職員名	辻川慶子、目良秋子、井上隆史、水越あゆみ、水間千恵、石沢順子、涌井恵(敬称略)
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	通年
	プログラム概要	高大連携プログラムとして協定校:佼成学園女子高等学校の図書館ツアー(5/22 50名)およびキャリアデザイン授業(11/20 54名)を実施。姉妹校への出張講座として仙台白百合学園高等学校(6/6 44名)、盛岡白百合学園中学高等学校(9/19 92名)、湘南白百合学園中学・高等学校(12/26 9名)と実施。

63	プログラム名称	エデュテイメント大学
	学科・部署名	人間総合学部(児童文化学科、発達心理学科、初等教育学科)、グローバル言語・文化研究センター、社会連携センター
	教職員名	森下みさ子、涌井恵、金森克浩、石沢順子、眞榮城和美、川口潤子、大貫麻美、海老原晴香、ジョンソン エイドリエン レネー(敬称略)
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	7月～1月
	プログラム概要	エデュテイメント大学は、「学びと遊び」をテーマに、白百合女子大学の学びの特色を生かした、親と子と学生による地域交流を目的とした講座。幼児・児童とその親を対象に、それぞれのプログラムが「遊び」を通じた親子で「学ぶ」企画になっている。教員がコーディネータとなり学生が参加者(小学生低学年中心)のサポートを行いながら、プログラムが進行されている。2025年度は「カードゲームで地球を学ぶ」「iPadで発達障害のある子供の可能性を拡げよう♪」「からだであそぼう～親子で楽しく運動遊び～」 「今日はどこんリラックス」「楽しくエコにクリスマスの準備をしよう」「私らしい」って何だろう』の6プログラムを実施。

64	プログラム名称	りすぶらん・あんふあん「子育て支援ルーム」
	学科・部署名	人間総合学部(発達心理学科、初等教育学科)、社会連携センター
	教職員名	眞榮城和美、沓名桂子、目良秋子、土橋久美子(敬称略)
	学生団体名	
	提供リソース	4,複合的
	実施日(実施期間)	5月～1月
	プログラム概要	「りすぶらん・あんふあん子育て支援ルーム」は、子どもの健やかな成長について、発達心理学や幼児教育や児童文化を学ぶ白百合の学生や先生たちと一緒に、親子いっしょに身体を動かしながら楽しく考えるプログラム。0～3歳児が主な対象。2025年度は「SEL:思いやりの気持ちを育む」「みんなでいっしょに“げきあそび”①～ふわふわ～」 「みんなでいっしょに“げきあそび”②～きらきら～」 「リトミック de りすぶらん」 『「子育てひろば」—おとなも、こどもも楽しいひとときを過ごしましょう！—』 「クリスマスを楽しもう」 「アートセラピー体験 ～コラージュ制作～」 の7つのプログラムを実施。

65	プログラム名称	せんがわ劇場「公開講座」
	学科・部署名	社会連携センター、文学部
	教職員名	井上隆史
	学生団体名	
	提供リソース	1.知的資源
	実施日(実施期間)	2026年2月4日(木)
	プログラム概要	調布市せんがわ劇場にて、文学部国語国文学科:井上隆史教授による公開講座「三島由紀夫—戯曲から考える光と闇」を開催した。本講座は舞台芸術面でのまちのブランド力を高める発信基地である《調布市せんがわ劇場》イベントに協力するものであり、研究成果を広く市民と共有するものである。「三島由紀夫生誕100年祭」のクロージングイベントとして、井上教授の講義とともにDEL(デル:せんがわ劇場アーティストグループ)による戯曲のリーディングが行われた。

以上